

## 第2回経営協議会記録

日 時 平成30年6月14日（水）14:56～16:40

場 所 柏原キャンパス事務局棟4F小会議室

出席者 栗林学長

上田, 小川, 塚本, 津田, 橋本, 浜中, 山本, 岡本, 伊藤, 森田, 松岡, 鈴木

陪席者 窪田監事

事務陪席者 河村学術部長, 中西学務部次長, 吉田監査室長, 新光経営戦略課長, 石場財務課長, 岩田施設課長, 柴田教務課長, 飯國人事課課長代理, 馬場総務課長, 大野広報室長, 千原総務係長, 西芝総務係員

開会に先立ち、栗林学長から平成30年度第1回経営協議会の記録の確認が行われた。

### 議題（1）平成29年度決算について

鈴木総務部長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

#### 【主な質疑等】

- ・目的積立金は認められるかとの質問に対し、目的に沿ったものなので認められるとの回答があった。
- ・運営費交付金収益がプラスになっている理由は何かとの質問に対し、運営費交付金は受領の際に負債として処理し、執行する際に収益化するため、収益化のタイミングによってはプラスになるが、運営費交付金自体は前年度と変わっていないとの回答があった

### 議題（2）平成30年度予算（第1次補正）について

鈴木総務部長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

### 議題（3）平成31年度概算要求について

鈴木総務部長から資料に基づき説明が行われ、方向性及び以後の取り運びは学長一任とすることが了承された。

### 議題（4）平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

岡本理事から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

### 報告事項（1）平成29年度資金運用について

鈴木総務部長から資料に基づき報告が行われた。

報告事項終了後、大学運営に関し、次のような意見があった。

- ・大阪教育大学が「こういう小学生を育てたい。」というモデルを作り、そのモデルを実現できる先生を養成し、輩出していくことで、学校教育を牽引していくことが必要ではないか。また、この取組みを社会に“大阪教育大学の特色”としてアピールしていけば、他の教員養成大学との差別化も図ることができる。
- ・“塾に行かなくても良い学校づくり”を行ってほしい。大阪教育大学出身の教職員が大多数を占める小中学校であり、十分な学力を付けることができるので、運動や芸術に時間を割くことができるといったことができれば理想である。
- ・今まで述べたような人材を多数輩出していく点で、私立大学と区別化、差別化していく

方策を出して、その方策を文部科学省に支援してもらうような要望が必要ではないか。

- 今ある特色も含めて、もっと社会にアピールする必要がある。そのためには、国立大学で教員養成をする意義を再確認していかなければならない。「こういう教育をすべきだ」という方向付けをしてこそその教員養成大学だと思う。
- 問題を抱えた子どもたちへの対応に重点を置くと偏りを生み、問題を抱えていない子どもたちの意欲が削がれてしまう。そうならないために、問題を抱えていない子どもたちへの対応にも取り組んでいく必要がある。そうすることで、他の大学との差別化に繋がっていくのではないか。
- 教育課題が大きい自治体からすると、教員養成系の大学と連携することは有意義であり、大阪教育大学の教授の方々と現場の教諭が連携して教育現場の底上げをしていくことが必要になる。その中で、シンクタンク的な拠り所となるようなものが必要になる。

以上